



グレブ・ニキティン (ロシア出身)
2000年入団 コンサートマスター

創立70周年の東京交響楽団で活躍する楽団員

(前編)

ミュゼ川崎シンフォニーホールをホームグラウンドに活動している、川崎市のフランチャイズオーケストラ・東京交響楽団は今年、創立70周年を迎えました。楽団で活躍している5人の外国出身の楽団員の方々にインタビューをしました。

どういう経緯で東京交響楽団に入られたのですか？

ニキティン：国内外のオーケストラに所属したのち、1993年からは札幌交響楽団にコンサートマスター、そして1999年に東京交響楽団の元楽団長の金山さんから連絡をいただき、2000年10月に東京交響楽団のコンサートマスターになりました。

大和田：ドイツで所属していたオーケストラで主人(同楽団のホルン奏者・日本人)と出会いましたが、彼は先に帰国して東京交響楽団に入団しました。私はオーケストラで演奏するのが夢でしたし、彼と結婚したいと思っていたので、夏に日本に遊びに来た際にオーディションがあると聞いて、迷わずオーディションを受けました。入団は1988年です。



大和田 ルース(イギリス出身)
1988年入団
第1ヴァイオリン奏者

黄原：私は中国・上海交響楽団を経て、広州交響楽団のチェロ奏者を務めていました。1986年に東京交響楽団創立40周年記念の上海公演を聴いて、その素晴らしい演奏がとても印象に残りました。中国で初めて演奏会をした日本のオーケストラがこの楽団で、日本で最高の交響楽団だと思い、1991年にオーディションに合



こうはらりょうじ
黄原亮司 (中国出身)
1991年入団 チェロ奏者

格しました。入団後の1993年に日本国籍を取りましたが、当時は帰化がとても難しく、時間がかかりました。

ヌヴェー：以前から日本に興味があり、学生時代には毎年日本に来ていて、とてもいい国だと思っていました。卒業後来日していた時、タイミング良くオーディションを受けられて入団しました。クラリネット奏者の妻(日本人)とは、彼女がフランスに留学していた頃に出会い、来日前に結婚しました。



エマニュエル・ヌヴェー(フランス出身)
2002年入団
首席クラリネット奏者

ハミル：大学時代、海外の国際音楽祭と日本に興味がありました。そこで、3年続けて夏のPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)に参加したのですが、3年目の夏に友人から、私の日本滞在中に東京交響楽団のオーディションがあると聞き申込みました。締め切りギリギリだったのですが何とか間に合って合格しました。日本に住んでみたかったのでうれしかったです。

日本人のメンバーとは、演奏上の意思疎通や、プライベートでのコミュニケーションはどのようにしていますか？

ニキティン：本番中は話せません。リハーサルの時は日本語と英語で話しますね。プライベートではたった1人のメンバーとたくさん話しますよ。どういうことかわかりますか?…奥さんが楽団のヴァイオリン奏者なんです(笑)。

大和田：他のメンバーとは、リハーサルの時もプライベートでも日本語で話します。主人とはドイツ語です。

ハミル：ご主人とはドイツ語、日本語、英

語のミックスだよ(笑)。

黄原：リハーサルでは日本語で話します。外国人指揮者によってはイタリア語やドイツ語が中心になることもあります。音楽の専門用語なら音楽家同志コミュニケーションできるものです。妻は日本人ですし、プライベートではほとんど日本語です。上海語も話しますが、今では中国語(北京語)より日本語のほうが上手かもしれません。

ハミル：黄原さん、中国語うまいよ(爆笑)。

ヌヴェー：メンバーとは日本語で、家では妻とフランス語で話します。彼女はフランスに8年滞在していたので、フランス語が上手です。

ハミル：リハーサルの時は95%日本語でコミュニケーションを取ります。私の後ろの席に座っている首席トランペット奏者は英語が上手なので、彼とは英語で打ち合わせします。プライベートではだいたい日本語ですが、オーケストラ内は結構国際的なので英語で話しますね。ヌヴェーさんとは14年のお付き合いですが、二人の共通語は日本語です。外国人同士が日本語でべらべら話していると、不思議そうにみられることもあります(笑)。



ジョナサン・ハミル(アメリカ出身)
2001年入団
首席ホルン奏者

5人の皆さんのユーモアと、個性にあふれたクロスカルチャーの話が弾んで、笑いあり、拍手ありという楽しい取材でした。10月20日から創立70周年記念のヨーロッパ公演に行かれるそうです。皆さんの今後のご活躍にも注目です。

(取材・文:編集ボランティア 小島 俊彦
写真:登録ボランティア 安田 芳郎)

東京交響楽団公式 HP:<http://tokyosymphony.jp/>